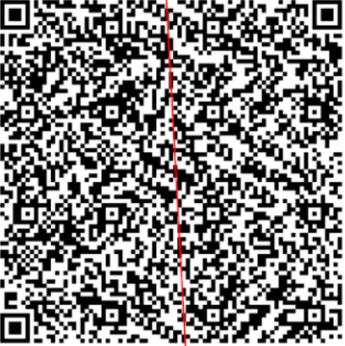


# 転出証明書(2/3)のレイアウト【案】

届出日		転出予定年月日		
転出先住所				
転出前住所				
転出前の世帯主				
【MJ+文字図形名欄】				
1	氏名	【MJ+文字図形名欄】	氏名	【MJ+文字図形名欄】
3	氏名	【MJ+文字図形名欄】	氏名	【MJ+文字図形名欄】

※ QRコードにおいて表現できない文字（「？」で表記）がある場合にMJ+文字に変換するための文字図形名データ項目順かつ項目内に表記されている順に、【MJ+文字図形名欄】に上から順に印字している。

# 転出証明書(2/3)のレイアウト考え方【案】

届出日	令和元年12月3日	転出予定年月日	令和元年12月4日
転出先住所	東京都港区虎ノ門2-2-1 虎ノ門ハイツ101号		
転出前住所	東京都千代田区霞が関2-1-2		
転出前の世帯主	住民 太郎		
<p>・折り目がQRコードと重なると読み取れない可能性があることに注意すること。</p>			
<p>氏名   住民 太郎</p>		<p>氏名   ZHANG YULIN 張 玉蓮</p>	
<p>1</p> 		<p>2</p> 	
<p>氏名   住民 一郎</p>		<p>氏名  </p>	
<p>3</p> 		<p>・一人分ずつの情報を格納したQRコードを人数分印字する。 【理由】住民記録システムの機能としては、何らかの方法でCSV形式になったデータを取り込めることを標準機能とし、その方法は問わないが、「転出証明書へのQRコードの印字」については、QRコード化する主体(転出元市区町村)とそれを使う主体(転入先市区町村)が異なり、転出元市区町村でQRコードを印字しなければ転入先市区町村でも読み取れないことから、転出証明書にQRコードを印字することを標準とする。 今後、QRコードで読み取り可能な情報の拡張性を考慮すると世帯員ごとに定義をした方がよいという準構成員からの意見を踏まえ、QRコードについては世帯員ごとに作成する。</p>	

**【留意事項】**  
 ・QRコードを読み込んだ結果SJISで表現できない文字「？」があった場合にMJ+文字図形名を印字する記載例を示している。  
 ・「？」が多かった場合に備えてQRコード欄の縦幅最大限に記載できる。

第4.1版 20191203 ●●区 本庁1 プリント001 011 2/3  
 ※ QRコードにおいて表現できない文字（「？」で表記）がある場合にMJ+文字に変換するための文字図形名をデータ項目順かつ項目内に表記されている順に、【MJ+文字図形名欄】に上から順に印字している。